

沿革

- 昭和29年 4月1日 1町5村が合併し、御坊市市制施行
4月 初代市長に菅原清六氏が就任
大前定吉氏が消防団長に就任
- 昭和31年12月1日 御坊市消防本部、消防署発足
初代消防長に菅原清六市長が就任
消防職員数7名 消防ポンプ自動車2台 三輪ポンプ自動車1台
消防団員260名 消防ポンプ自動車3台 三輪ポンプ自動車5台
- 昭和32年 消防長に大前定吉消防団長が就任
- 昭和33年 小型動力ポンプ付積載車2台を購入し、野口分団、名田分団に配備
- 昭和34年 市長に湯川周次郎氏が就任
消防長に湯川周次郎市長が就任
印南町明神川地区が御坊市に編入
日高町、美浜町、川辺（現日高川）町、印南町、由良町及び御坊市で消防組織法に基づき「消防相互応援協定」を締結
- 昭和35年 消防長代理に正賀幸一氏が就任
消防職員5名が増員され、条例定数12名
中短波無線機を購入し、消防自動車に装備
消防ポンプ自動車を購入し、消防署に配備
湯川分団財部、名田分団楠井の消防車庫を新築
- 昭和36年 小型動力ポンプ付積載車を購入し、塩屋分団に配備
- 昭和37年 消防団長に小宮善之助氏が就任
御坊市火災予防条例制定
消防職員1名が増員され、条例定数13名
- 昭和38年 消防ポンプ自動車を購入し、消防署に配備
小型動力ポンプ付積載車を購入し、御坊分団に配備
- 昭和39年 市営災害応急住宅大火により災害救助法発令
- 昭和40年 消防長に正賀幸一氏が就任
消防職員7名が増員され、条例定数20名
御坊分団名屋の消防車庫を新築
小型動力ポンプ付積載車を購入し、御坊分団に配備
- 昭和41年 小型動力ポンプ付積載車を購入し、名田分団に配備
- 昭和42年 市長に菅原清六氏が就任
- 昭和43年 消防長に堀田栄一氏が就任
日高町、美浜町、川辺（現日高川）町、印南町、由良町及び御坊市で消防組織法に基づき「消防相互応援協定」を締結
（昭和34年締結の消防相互応援協定は廃止する）

- 財団法人日本損害保険協会より、消防ポンプ自動車寄贈
水槽付消防ポンプ自動車を購入し、消防署に配備
ダイヤル式非常電話 1 1 9 番を導入
- 昭和 4 4 年 消防職員 7 名が増員され、条例定数 2 7 名
救急業務開始
救急自動車を購入し、消防署に配備
消防庁舎増築
野口分団岩内、塩屋分団明神川の消防車庫を新築
- 昭和 4 5 年 消防職員 1 名が増員され、条例定数 2 8 名
小型動力ポンプ付積載車 3 台を購入し、消防署、御坊分団、名田分団に配備
- 昭和 4 6 年 消防団員数 2 3 0 名に条例改正
パトロール車、小型動力ポンプ付積載車を購入し、消防署に配備
御坊ライオンズクラブより、單車寄贈
- 昭和 4 7 年 市長に玉置修吾郎氏が就任
消防長に山下晁氏が就任
消防団長に岡本昌一氏が就任
- 昭和 4 8 年 消防用超短波無線電話を購入
消防ポンプ自動車を購入し、御坊分団に配備
小型動力ポンプ付積載車を購入し、名田分団に配備
- 昭和 4 9 年 消防ポンプ自動車を購入し、消防署に配備
財団法人日本船舶振興会より、救急自動車寄贈
野口分団熊野に消防器具庫を新設
- 昭和 5 1 年 御坊ライオンズクラブより、広報車寄贈
- 昭和 5 2 年 小型動力ポンプ付積載車を購入し、湯川分団に配備
- 昭和 5 3 年 救助資機材搬送車を購入し、消防署に配備
小型動力ポンプ付積載車を購入し、御坊分団に配備
消防ポンプ自動車を購入し、湯川分団に配備
日高郡日高町荊木地区の一部が御坊市に編入
- 昭和 5 4 年 山之内製薬株式会社より、救急自動車寄贈
火災損害保険協会より、水槽付消防ポンプ自動車寄贈
消防ポンプ自動車を購入し、御坊分団に配備
小型動力ポンプ付積載車を購入し、名田分団に配備
- 昭和 5 5 年 消防ポンプ自動車を購入し、湯川分団に配備
小型動力ポンプ付積載車を購入し、湯川分団に配備
御坊分団新町、湯川分団下富安、財部、西富安の消防車庫を新築
- 昭和 5 6 年 小型動力ポンプ付積載車 2 台を購入し、藤田、野口分団に配備
御坊分団島、藤田分団下吉田、野口分団下野口の消防車庫を新築
- 昭和 5 7 年 消防職員 2 名が増員され、条例定数 3 0 名
消防庁舎を新築（湯川町財部へ移転）

- 消防救急指令装置を設置
和歌山県林野火災用空中消火資機材倉庫を新築(県有消火資機材を保管)
- しんせい保育園幼年消防クラブ発足
- 昭和58年 消防長に中島武氏が就任
消防職員2名が増員され、条例定数32名
名田分団楠井の消防車庫を新築
広報車を購入し、消防署に配備
- 昭和59年 消防職員8名が増員され、条例定数40名
和歌山市、海南市、有田市、下津町及び御坊市で消防組織法に基づき「和歌山北部臨海都市広域消防協定」を締結
田辺海上保安部と御坊市で「消防業務協定」を締結
大型高所放水車、大型化学消防ポンプ自動車、泡原液搬送車の三点セットを購入し、消防署に配備
消防ポンプ自動車を購入し、名田分団に配備
小型動力ポンプ付積載車を購入し、御坊分団に配備
名田分団上野の消防車庫を新築
- 昭和60年 消防長に西田善次氏が就任
消防団長に狩谷信夫氏が就任
小型動力ポンプ付積載車2台を購入し、消防署、塩屋分団に配備
- 昭和61年 財団法人日本損害保険協会より、救急自動車寄贈
第11回和歌山県下消防ポンプ操法大会(於、那智勝浦町)で御防分団が小型ポンプ操法の部で優勝
御坊ライオンズクラブより、広報車寄贈
小型動力ポンプ付積載車を購入し、御坊分団に配備
御坊市防災行政無線を設置
湯川幼稚園幼年消防クラブ、ちどり(現つばさ)保育園幼年消防クラブ、新東少年消防クラブ、富安婦人消防クラブ発足
- 昭和62年 消防団長に杉浦弼一氏が就任
御坊市消防救助隊結成
社団法人和歌山県農協共済福祉協会より、救急車寄贈
消防ポンプ自動車2台を購入し、消防署、野口分団に配備
小型動力ポンプ付積載車を購入し、名田分団に配備
御坊分団藺、藤田分団藤井、野口分団下野口の消防車庫を新築
- 昭和63年 消防長に西弘氏が就任
小型動力ポンプ付積載車2台を購入し、御坊分団、湯川分団に配備
御坊分団紀小竹、湯川分団丸山の消防車庫を新築
- 平成 元年 小型動力ポンプ軽積載車を購入し、藤田分団に配備
- 平成 2年 消防ポンプ自動車2台を購入し、藤田分団、塩屋分団に配備
小型動力ポンプ軽積載車を購入し、野口分団に配備

- 平成 3年 水槽付消防ポンプ自動車を購入し、消防署に配備
小型動力ポンプ付積載車を購入し、湯川分団に配備
名田分団の拠点施設コミュニティー消防センター（消防車庫）、藤田分団北吉田の消防車庫を新築
- 平成 4年 市長に柏木征夫氏が就任
消防職員2名が増員され、条例定数42名
梯子付消防ポンプ自動車を購入し、消防署に配備
消防気象観測装置を購入し、消防庁舎に設置
消防無線前進基地局装置を名田地区に設置
空気ガスボンベ充填施設を新築
湯川分団下富安の消防車庫を新築
財団法人日本消防協会より、広報車寄贈
- 平成 5年 消防職員5名が増員され、条例定数47名
消防ポンプ自動車を購入し、消防署に配備
救急自動車を購入し消防署に配備
小型動力ポンプ軽積載車を購入し、塩屋分団に配備
塩屋分団の拠点施設コミュニティー消防センター（消防車庫）を新築
消防庁舎仮眠室の拡張及び消防資機材倉庫の新築
わかば保育園幼年消防クラブ発足
- 平成 6年 日高広域消防事務組合と御坊市で「御坊市・日高広域消防事務組合
消防相互応援協定」を締結
救急救命士国家資格試験1名合格、救急救命士総数1名
救急自動車を購入し、消防署に配備
小型動力ポンプ付積載車を購入し、御坊分団に配備
独居老人宅に緊急通報システム（150台）を設置
- 平成 7年 阪神・淡路大震災に6日間、延べ30名を派遣し、消火、救助活動を行う
普通救助隊を特別救助隊に再編
緊急消防援助隊編成
県防災航空隊発足に伴い、1名を派遣
救急救命士国家資格試験1名合格、救急救命士総数2名
救急救命士就業前病院研修について協定を締結（4病院）
消防ポンプ自動車を購入し、湯川分団に配備
小型動力ポンプ付積載車を購入し、名田分団に配備
消防ポンプ自動車を購入し、御坊分団に配備
資機材搬送車（軽四ダンプ）を購入し、消防署に配備
救助工作車を購入し、消防署に配備
湯川分団の拠点施設コミュニティー消防センター（消防車庫）を新築
御坊分団東町の消防車庫を新築
- 平成 8年 湯浅御坊道路相互応援協定を締結
和歌山県下消防広域相互応援協定を締結

- 和歌山県防災ヘリコプター応援協定を締結
- 消防職員 1 名が増員され、条例定数 48 名
- 救急高度化制度運用開始
- 消防職員委員会制度発足
- 救急救命士国家資格試験 1 名合格、救急救命士総数 3 名
- 潜水隊を編成
- 地震・津波職員参集装置を設置
- 消防無線救急波を新設
- 庁舎自家発電設備を設置
- 消防、救急無線前進基地を塩屋地区に移転
- 高規格救急車を購入し、消防署に配備
- 小型動力ポンプ付積載車を購入し、御坊分団に配備
- 小型動力ポンプ軽積載車を購入し、湯川分団に配備
- 御坊市防災センター（野口分団車庫併設）を新築
- 御坊分団名屋消防車庫を新築
- 平成 9 年 消防団長に中西兵太郎氏が就任
 - 大災害時における土木建築機材援助協定を締結
 - 和歌山県流出油災害対策協議会に入会
 - 救急救命士国家資格試験 1 名合格、救急救命士総数 4 名
 - 市より御坊市防災ヘリポート施設の管理業務を受託
 - 市よりミニ救急ポンプ倉庫の管理業務を受託
 - 水難救助資機材搬送車を購入し、消防署に配備
 - 広報車を購入し、消防署に配備
 - 消防ポンプ自動車を購入し、湯川分団に配備
 - 小型動力ポンプ付積載車 2 台を購入し、湯川分団、野口分団に配備
- 平成 10 年 消防団長に塩崎巖氏が就任
 - 救急救命士国家資格試験 1 名合格、救急救命士総数 5 名
 - 自動車電話・携帯電話からの 119 番通報接続受信転送装置を設置し、紀中代表消防本部として運用開始
 - 和歌山県内における自動車電話・携帯電話からの 119 番通報接続に関する協定を締結
 - 小型動力ポンプ付積載車を購入し、藤田分団に配備
 - 和歌山県高速道路等危険物運搬車両事故防止対策協議会入会
- 平成 11 年 消防長に平井健氏が就任
 - 救急救命士国家資格試験 1 名合格、救急救命士総数 6 名
 - 日高医師会と災害時の医療救護に関する協定を締結
 - 御坊保健所管内における防災ヘリを利用した患者搬送システム実施要領を制定
 - 紀南地区海難救助連絡協議会に入会
 - コンピューター西暦 2,000 年問題対策本部を設置
- 平成 12 年 救急救命士国家資格試験 1 名合格、救急救命士総数 7 名

- 災害時における御坊市と御坊市内郵便局との相互協力に関する覚書を締結
小型動力ポンプ付積載車2台を購入し、消防署、御坊分団に配備
御坊中央ライオンズクラブより、広報車寄贈
和歌山県救急医療研究会に入会
- 平成13年 救急救命士国家資格試験3名合格、救急救命士総数10名
消防ポンプ自動車を購入し名田分団に配備
小型動力ポンプ付積載車1台を購入し、塩屋分団に配備
インターネットホームページ開設
独居老人宅緊急通報システム更新
- 平成14年 社団法人日本損害保険協会より、水槽付消防ポンプ自動車寄贈
財団法人日本防火協会より、煙体験用資機材寄贈
財団法人日本消防協会より、体力測定器寄贈
大阪府藤井寺市、滋賀県近江八幡市と災害時相互物資援助協定を締結
通信指令室を改築
- 平成15年 消防緊急通信指令施設及び発信地表示装置を導入
救急救命士国家資格試験1名合格、救急救命士総数11名
消防団旗新調
湯浅御坊道路・阪和自動車道（御坊～みなべ）消防相互応援協定を締結
- 平成16年 消防団長に北村幸大氏が就任
野口分団熊野消防車庫（防災資機材等備蓄施設）を新築
小型動力ポンプ付積載車を購入し、野口分団に配備
救急救命士国家試験1名合格、救急救命士総数12名
市制施行50周年記念事業 消防・防災フェスティバル開催
小型動力ポンプ付積載車を購入し、御坊分団に配備
小型動力ポンプ軽積載車を購入し、藤田分団に配備
- 平成17年 条例定数45名に改正
塩屋分団北塩屋消防車庫（防災資機材等備蓄施設）を新築
小型動力ポンプ付積載車を購入し、名田分団に配備
日高新報社より、AED2台寄贈
- 平成18年 消防長に竹村倫一氏が就任
御坊総合運動公園にて第21回和歌山県消防ポンプ操法大会開催
御坊ライオンズクラブより、公用車寄贈
自動車電話・携帯電話からの119番通報が直接受信方式に移行され管轄
消防本部にて受信、運用開始
- 平成19年 高規格救急車を購入し、消防署に配備
和歌山県総合防災情報システム運用開始
- 平成20年 消防ポンプ自動車を購入し、消防署に配備
救急救命士国家試験2名合格、有資格者1名採用、救急救命士総数15名
御坊中央ライオンズクラブより、救命ボート及び船外機寄贈
- 平成21年 消防ポンプ自動車を購入し、野口分団に配備

- 平成 22 年 小型動力ポンプ軽積載車を購入し、湯川分団に配備
総務省消防庁から、御坊分団に消防団救助資機材搭載型車両を無償借受
救急救命士資格有資格者 2 名採用、救急救命士総数 17 名
御坊東ロータリークラブより、潜水器具一式寄贈
- 平成 23 年 消防ポンプ自動車を購入し、藤田分団に配備
東日本大震災に伴い宮城県へ緊急消防援助隊（消火部隊）として 9 日間、
延べ 10 名を派遣し、消火、救助活動を行う
庁舎自家発電設備を改修し、屋上に設置
ドクターカー運用に伴う医師等による救急活動の実施に関する協定を締結
台風 12 号により被害を受けた新宮市へ和歌山県下消防広域相互応援協定
に基づき 3 日間 4 名を派遣し、救助活動を行う
消防緊急通信指令施設を部分更新（統合型位置情報システムの導入）
御坊市消防交友会より、消防ポンプ操法大会用幟寄贈
- 平成 24 年 消防長に玉置憲一氏が就任
第 24 回和歌山県消防ポンプ操法大会（於、紀の川市）で名田分団
がポンプ車操法の部で優勝、小型ポンプ操法の部で準優勝
大型高所放水車、化学消防ポンプ自動車、泡原液搬送車の 3 点セットを更新
高規格救急車を購入し、消防署に配備
小型動力ポンプ軽積載車を購入し、野口分団に配備
- 平成 25 年 消防ポンプ自動車を購入し、塩屋分団に配備
小型動力ポンプ付積載車を購入し、湯川分団に配備
救急救命士国家試験 1 名合格、救急救命士総数 18 名
県消防救急デジタル無線整備推進協議会に 1 名を派遣
- 平成 26 年 梯子付消防ポンプ自動車を購入し、消防署に配備
小型動力ポンプ軽積載車を購入し、塩屋分団に配備
愛徳保育園幼年消防クラブ結成
御坊幼稚園幼年消防クラブ結成
しらゆり保育園幼年消防クラブ結成
はこぶね幼稚園幼年消防クラブ結成
- 平成 27 年 軽四ダンプ車を購入し、消防署に配備
救急救命士国家試験 1 名合格、救急救命士総数 19 名
- 平成 28 年 消防団長に藪脇廣司氏が就任
消防救急デジタル無線設備を導入
小型動力ポンプ付積載車を購入し、御坊分団に配備
第 26 回和歌山県消防ポンプ操法大会（於、和歌山市）で塩屋分団が
小型ポンプ操法の部で優勝（全国大会出場）、御坊分団がポンプ車操法
の部で準優勝
御坊市防災ヘリポート使用に関する覚書を NHK 和歌山放送局と締結
- 平成 29 年 消防長に小畑秀樹氏が就任
救助工作車Ⅱ型を購入し、消防署に配備

- 小型動力ポンプ付積載車を購入し、名田分団に配備
消防ポンプ自動車を購入し、御坊分団に配備
広報車を購入し、消防署に配備
公益財団法人日本消防協会より、防災活動車交付
阪和自動車道、湯浅御坊道路、関西空港自動車道及び京奈和自動車道消防相互
応援協定を締結
- 平成 30 年 救急救命士国家試験 1 名合格、救急救命士総数 20 名
小型動力ポンプ軽積載車を購入し、湯川分団に配備
小型動力ポンプ付積載車を購入し、御坊分団に配備
消防ポンプ自動車を購入し、湯川分団に配備
水槽付消防ポンプ自動車を購入し、消防署に配備
第 27 回和歌山県消防操法大会（於、和歌山市）で、野口分団がポンプ
車操法の部で準優勝
- 平成 31 年 消防長に本田敏文氏が就任
救急救命士国家試験 1 名合格、救急救命士総数 20 名
沼野一恵氏より、広報車、救急資機材一式、消防団活動服一式寄贈
塩屋分団南塩屋消防車庫を新築
- 令和 元年 小型動力ポンプ付積載車を購入し、野口分団に配備
消防ポンプ自動車を購入し、湯川分団に配備
- 令和 2 年 市長に三浦源吾氏が就任
高機能消防指令センターの運用を開始
NET119、E-mail 一斉指令装置の運用を開始
消防団に女性 9 名が入団